



国連生物多様性の10年日本委員会 (UNDB-J) 推薦「子供向け図書」
「生物多様性の本箱」
 ~ みんなが生きものにつながる100冊 ~

分類 ¹	主な対象年齢	タイトル	表紙等	著者等	出版・発行	価格(税込)	発行年月	概要・選定理由	選定基準 ²
69	読み物	中学生	生きもの地図をつくらう	浜口 哲一 著	岩波書店(ジュニア新書)	777 円	2008.01	地球環境問題に関心があって自分でも何かしてみたい、そんな人にぴったりなのが生きもの地図づくりです。誰でも気軽に取り組み、春はタンポポ、梅雨時はカエル、夏はセミ、秋は虫、冬は野鳥と、一年中できるのも魅力です。何より自分の街の自然に親しめるようになります。身近な生きもの様子から、環境の変化を読み取る方法を身につけましょう。	(1) (2) (3) (4) (5) (6)
70	読み物	中学生	さとやま - 生物多様性と生態系模様 < 知の航海シリーズ >	著 鷲谷いつみ	岩波書店(ジュニア新書)	882 円	2011.06	雑木林や木などで構成されている里山。この多様な自然環境のしくみをわかりやすく書いてあります。里山とは何か、なぜ大切なのかを考えさせてくれる本です。	(1) (2) (3) (4) (5) (6)
71	読み物	中学生	サンゴとサンゴ礁のはなし 南の海のふしぎな生態系	著 本川 達雄	中央公論新社	882 円	2008.06	多くの生物が互いに助け合って生きるサンゴ礁の海を丁寧かつ魅力的に描写し、十分な知識を与え、地球温暖化や陸からの影響などサンゴ礁を危機に追いやっている要因を通じて人間社会のあり方を考えさせる本です。	(1) (2) (4) (5)
72	読み物	中学生	図説 木のすべて (全5巻)	監修 小澤普照 著 山岡好夫/ 三輪 雄四郎/ 小澤普照/ 田 中正則	大日本図書	各2,940円	1999.03	木は森をつくり、森は人間はもちろん、さまざまな生物に多様な恵みを与えています。地球環境と私たちの命を守っている木を様々な分野から見て、その魅力と重要性が理解できるように編集しました。全5巻の構成: さまざまな木のすがた 木と人間の歴史 現代における木の利用 森ができるまで 人間を生かす森	(1) (2) (3) (4)
73	読み物	中学生	生物多様性と私たち - COP10から未来へ	著 香坂玲	岩波書店(ジュニア新書)	861 円	2011.05	COP10で議題となった生物の多様性を、私たちの暮らしを通して考えてみるための書。そこから、多様性が私たちの暮らしに、なぜ大切なかがわかってきます。	(4) (5) (6)
74	読み物	中学生	< 生物多様性 > 入門	著 鷲谷いつみ	岩波書店(岩波ブックレット)	630 円	2010.06	長い歳月に生物同士が関わることで成り立ってきた自然は、人が関わる短期間で大きく変化しつつあります。その現状や保全について保全生態学の第一人者がわかりやすく解説し、「生物多様性」を大きく俯瞰できる一冊です。	(1) (2) (5)
75	読み物	中学生	樽前山 お花畑で聞いたこと	著、写真 新沼友啓	ふるさと文化セミナー	1,575 円	2002.10	高山植物や高山植物を育む厳しく(繊細な山岳環境、登山による影響をはじめとする人の乱雑、そしてその保全について、著者等が続けてきた実際の観察・活動に基づき、写真やイラストも用いて丁寧にわかりやすく説明している本です。	(1) (2) (5) (6)
76	読み物	中学生	鉄は魔法つかい	著 畠山重篤	小学館	1,365 円	2011.06	「美味しい牡蠣を作りたい」、その一心で始まった気仙沼の漁師の研究は、森に木を植える活動に発展し、やがて、生き物と鉄の不思議な関係に辿り着きます。身近な話題から自然の仕組みをわかりやすく解説しています。	(1) (2) (3) (5)
77	読み物	中学生	日本人は植物をどう利用してきたか	著 中西弘樹	岩波書店(ジュニア新書)	861 円	2012.06	和紙に使うコウゾやミツマタ、藍染めに使うアイ、畳にするイ等、植物は食材や家屋にはもちろん、日常の道具や年中行事にも、植物は用いられてきました。自然を暮らしの中に取り込んできた先人の知恵を学ぶ一冊です。	(3) (4) (6)
78	読み物	中学生	日本らしい自然と多様性 - 身近な環境から考える	著 根本正之	岩波書店(ジュニア新書)	819 円	2010.05	里山や川の土手には多くの草花が生えています。それらは在来のものか、あるいは近年外国から入ってきたものかを考えたり、生物の多様性を保つには、どういうことが必要なのかを考えます。	(3) (4) (5) (6)
79	読み物	中学生	マダガスカルがこわれる	著 藤原幸一	ポプラ社	1,890 円	2010.05	あと10年で消滅すると言われているマダガスカルの原生林、樹齢1000年にも及ぶバオバブの木や原猿類のペロシファカ。豊かな森がこんなに短期間でなくなる世界は、やがて人間の命も脅かすことを示唆しています。	(1) (2) (3) (5)
80	読み物	中学生	モグラ博士のモグラの話	著 川田伸一郎	岩波書店(ジュニア新書)	819 円	2009.08	絵本やキャラクターで親しみのあるモグラ。でもその姿を見ることがや生活を知るチャンスは殆どありません。本書はモグラに挑む若手研究者が平明な言葉でその研究成果を語り、身近な生き物に対する興味を盛り起こします。	(1) (2) (3) (5)
81	読み物	中学生	野生動物への2つの視点 “虫の目” と “鳥の目”	著 南正人、高槻成紀	筑摩書房	840 円	2010.05	一頭のシカをじっくり観察する「虫の目」と、シカをめぐる生物界のバランスを考える「鳥の目」。複数の視点から動物を立体的にとらえることで、生きものつながり、そして人間を含む生物界全体が見えてきます。	(1) (2) (3) (4) (5) (6)

1 分類、主な対象年齢、タイトルの順に掲載

2 (1)自然のしくみの素晴らしさや大切さを伝える内容であるもの、(2)生物のつながりや個性を伝える内容であるもの、(3)生物多様性の様々な恵み(自然の恵み、生態系サービス)を伝える内容であるもの、(4)生物多様性と私たちの暮らしとの関係を伝える内容であるもの、(5)生物多様性の現状や課題を伝える内容であるもの、(6)その他、生物多様性の理解や普及啓発に資すると判断されるもの、



国連生物多様性の10年日本委員会 (UNDB-J) 推薦「子供向け図書」
「生物多様性の本箱」
 ～みんなが生きものにつながる100冊～

分類 ¹	主な対象年齢	タイトル	表紙等	著者等	出版・発行	価格(税込)	発行年月	概要・選定理由	選定基準 ²
93	小学校 高学年 ～中学生	奇跡のテクノロジー がいっぱい! すごい 自然図鑑		監修 石田秀輝	PHP研究所	1,995 円	2011.12	46億年の知恵をもつ地球の自然がもつ驚くべきしくみや能力と、それをヒントにした、環境に負荷をかけない! "ネイチャー・テクノロジー"を、写真・イラストでビジュアル解説。自然観察力と科学的な考え方が育つ、総合的な学習や調べ学習に適した図鑑です。	(1) (2) (3) (4) (5) (6)
94	小学校 高学年 ～中学生	生物多様性の大研究		監修 小泉武栄	PHP研究所	2,940 円	2011.05	植物、動物、微生物など多様な生物のはたらきで保たれている地球の生態系、多様性によるめぐみと人間が招いた危機の現状、そしてそれを回避するための取り組みについて、多くの写真とイラストを使って解説します。	(3) (4) (5) (6)
95	小学校 高学年 ～中学生	「ネイチャーウォッチングガイドブック」海 藻		写真 阿部秀樹 海藻おしば 野田三千代 監修 神谷充伸	誠文堂新光社	3,150 円	2012.06	日本で一般的に見られる海藻388種類を、生態写真とおしばで収録。海には多種多様な海藻が生息し、どれも生物標本としての美しさ、おもしろさに溢れていることが発見できる一冊です。また、海に棲む動物たちとともに一つの生態系を築いている海藻を知り、楽しめば、海という環境がより深く見えてくることでしょう。	(1) (2) (3) (4) (5)
96	中学生	自然の中の人間シ リーズ(全3編30巻)		著 西尾道徳、柏崎守、新 国佐幸他 絵 飯島満、森上義孝、藤 田正純他	農山漁村文化 協会	各2,100円	1997.03 ～ 2005.10	人と自然の接点 = 農林水産業の現場にその知恵をさくする科学絵本です。 微生物と人間(全10巻)・昆虫と人間(全10巻)・花と人間(全10巻)	(1) (2) (3) (4) (6)
97	中学生	どっかい生きてる、ゴ ミの中		著 伊藤勝敏	保育社	2,310 円	2010.07	空き缶やタイヤなど、人間が海に廃棄したゴミの中で暮らす魚たちの写真を中心に構成。健康にたくましく生きる魚の写真から、本来の海の姿を知ってもらい、海の生物と人との関わりあいについて考えることができます。	(1) (2) (3) (5)
98	中学生	目で見る生命 生き 残りをかけた戦い		著 ロバート・ウィンストン 訳 大塚道子	さ・え・ら書房	2,940 円	2012.11	「生命とは何か?」生命が、いつ、どこで、どのように始まったか? 地球上には実に多様な生物が暮らしています。なぜこれほど多くの異なる種類があるのか? その謎を、豊富な資料とイラストで明らかにします。	(3)

1 分類、主な対象年齢、タイトルの順に掲載

2 (1)自然のしくみの素晴らしさや大切さを伝える内容であるもの、(2)生物のつながりや個性を伝える内容であるもの、(3)生物多様性の様々な恵み(自然の恵み、生態系サービス)を伝える内容であるもの、(4)生物多様性と私たちの暮らしとの関係を伝える内容であるもの、(5)生物多様性の現状や課題を伝える内容であるもの、(6)その他、生物多様性の理解や普及啓発に資すると判断されるもの、